VISA
査証

WELCOME
歓迎光臨

# 訪日外国人消費指数の動きと
# アジア・欧米からの訪日客の消費行動比較

～ Traveler Consumption Index ～

平成２９年１０月２４日

経済解析室

SHOPPING
買物

SIGHTSEEING
日本観光

ミニ経済分析ＵＲＬ： http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikeizai-result-1.html

# 訪日外国人数、旅行消費額とも過去最高。一人当たり支出は減少。

- ２９年第２四半期の訪日外国人旅行消費額は、前年同期比プラス１３.０％の１兆７７６億円と過去最高の数値。
- 訪日外国人数は、前年同期比プラス２１.１％の７２２万人と、過去最高の数値。
- 一方で、1人当たり旅行支出額は前年同期比マイナス６.７％の１４万９,２４８円と減少。

| | 訪日外国人旅行者数 | | 旅行消費額 | | 一人当たりの旅行支出額 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | （千人） | 前年(同期)比(%) | （億円） | 前年(同期)比(%) | （円） | 前年(同期)比(%) |
| 平成27年 | 19,737 | 47.1 | 34,771 | 71.5 | 176,167 | 16.5 |
| 28年 | 24,039 | 21.8 | 37,476 | 7.8 | 155,896 | -11.5 |
| 28年Ⅰ期 | 5,753 | 39.3 | 9,305 | 31.7 | 161,743 | -5.4 |
| 28年Ⅱ期 | 5,961 | 19.0 | 9,534 | 7.2 | 159,933 | -9.9 |
| 28年Ⅲ期 | 6,263 | 17.1 | 9,716 | -2.9 | 155,123 | -17.1 |
| 28年Ⅳ期 | 6,062 | 15.5 | 8,922 | 1.3 | 147,174 | -12.2 |
| 29年Ⅰ期 | 6,537 | 13.6 | 9,680 | 4.0 | 148,070 | -8.5 |
| 29年Ⅱ期 | 7,220 | 21.1 | 10,776 | 13.0 | 149,248 | -6.7 |

（資料）訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）

# 訪日外国人消費指数とは？

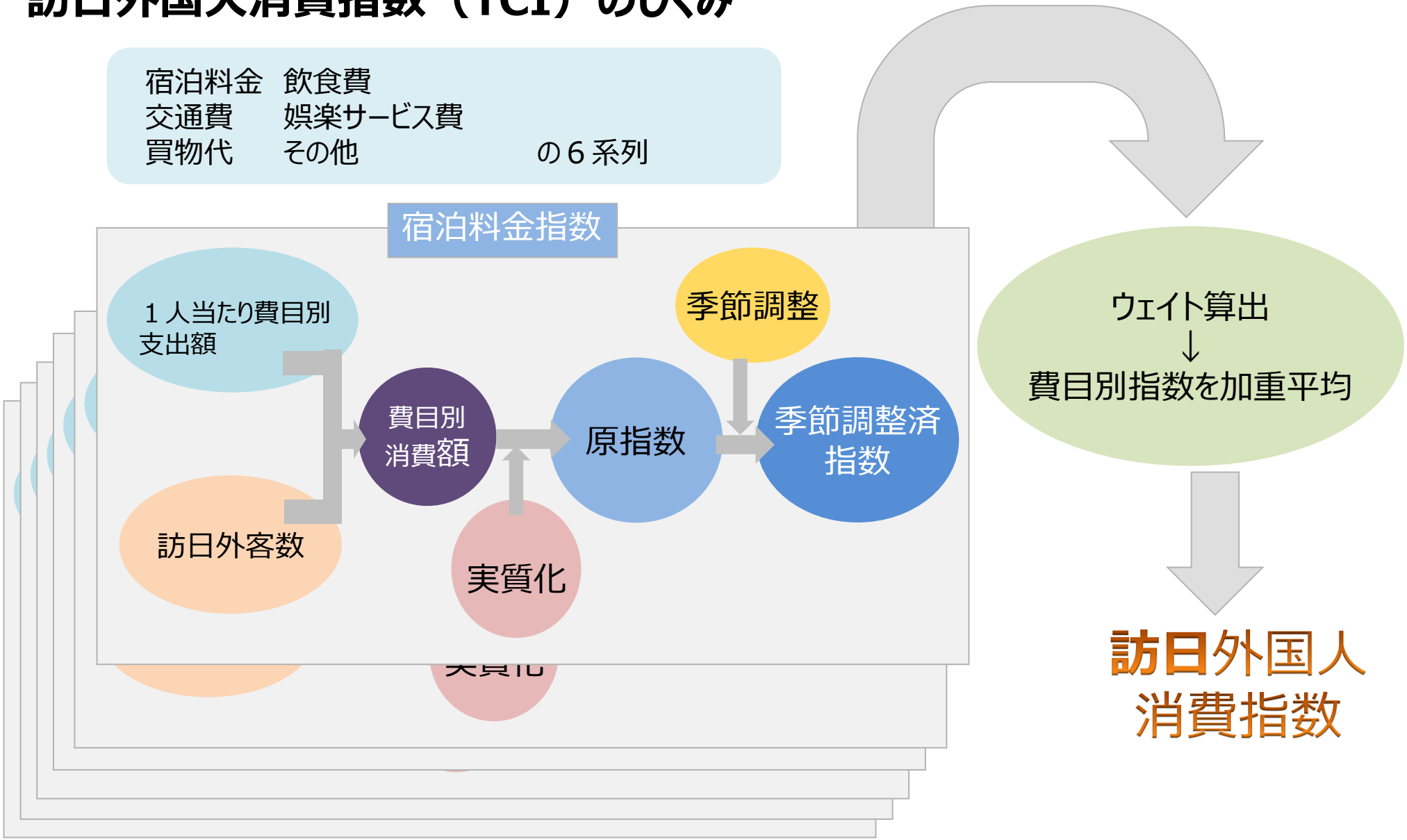
- 訪日外国人消費指数（TCI）とは、訪日外国人の消費金額を、消費者物価指数を用いて実質指数化したもの。
- 費目ごとに実質化することにより、日本国内の価格変化の影響を除外した動きを見ることができるように。

- 訪日外国人の消費金額については、訪日外国人消費動向調査（観光庁）の訪日客１人当たりの費目別売上高に、訪日外客数（日本政府観光局）を乗ずることで算出。

- 費目ごとの実質指数を加重平均するウェイトは、サービス産業（第３次産業）活動指数と比較できるウェイトとして算出。
- 国内のサービス産業の動向と訪日外国人消費の動きの関係を分析できるように設計。
- 試験的に季節調整を実施し、前年比だけではなく、四半期の前期比も計算でき、足元の動きの方向感も見定めることができる。

# 訪日外国人消費指数（TCI）のしくみ

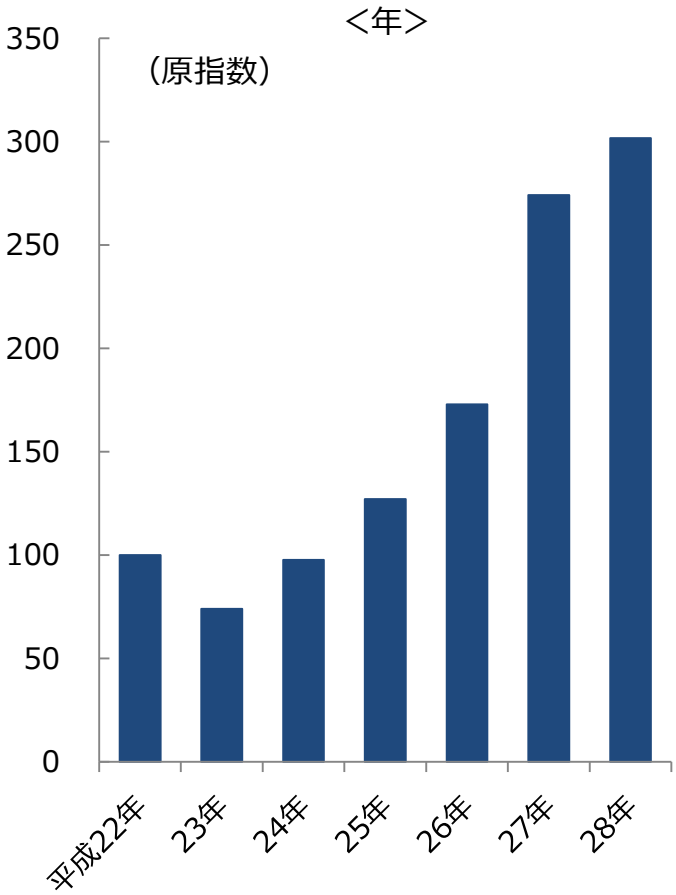
宿泊料金　飲食費
交通費　　娯楽サービス費
買物代　　その他　　の６系列

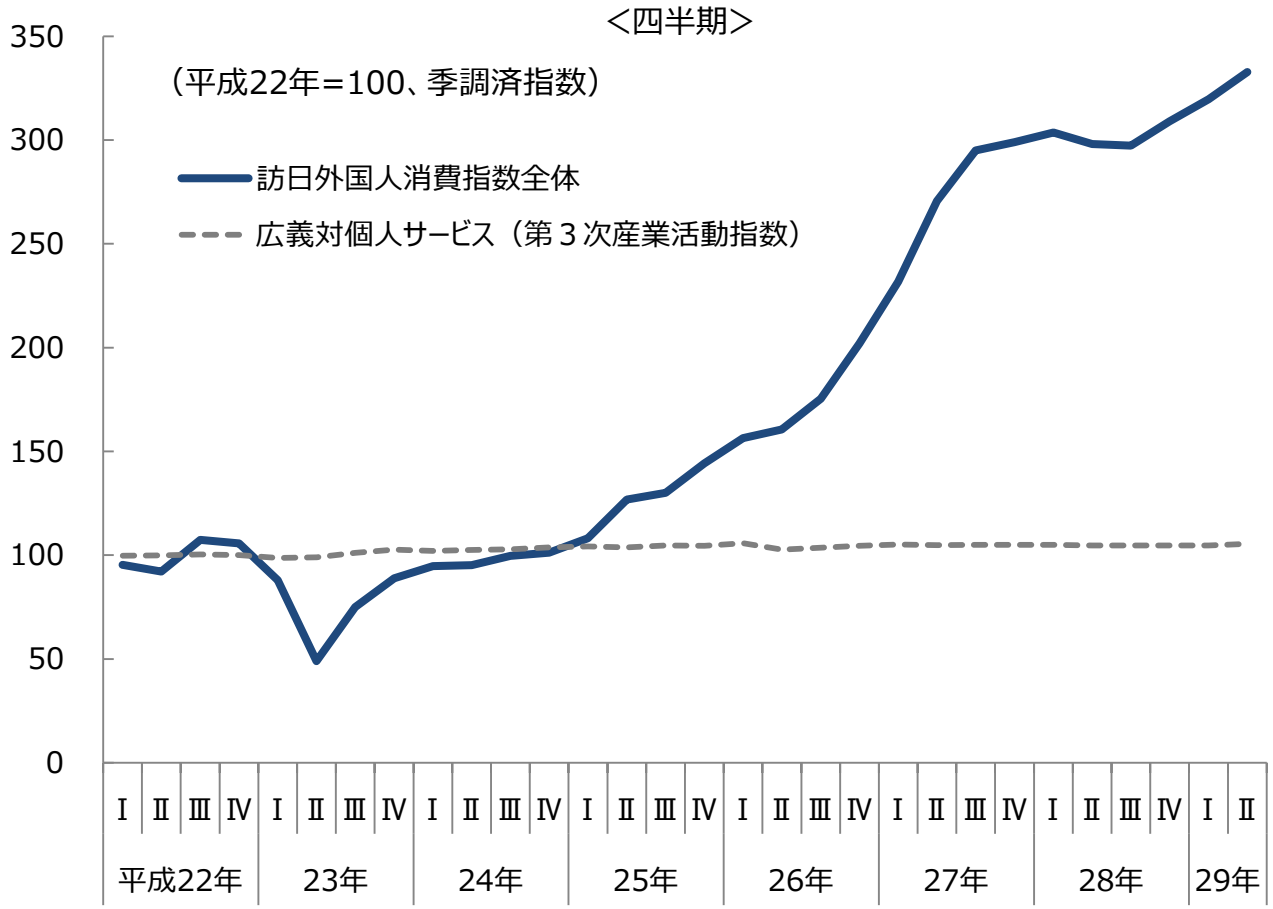



※上記図表についての詳細は、37～39頁「（参考）訪日外国人消費指数の作成方法」を参照。
（資料）訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 平成２９年第２四半期の訪日外国人消費指数は再び好調

- ２９年第１四半期の訪日外国人消費指数は、指数値３１９.６、前期比３.４％上昇、そして、第２四半期では、指数値３３２.７、前期比４.１％と３期連続で上昇。
- ２８年平均の指数値３０１.７を大きく上回り、２８年第３四半期を底として安定的に上昇基調。

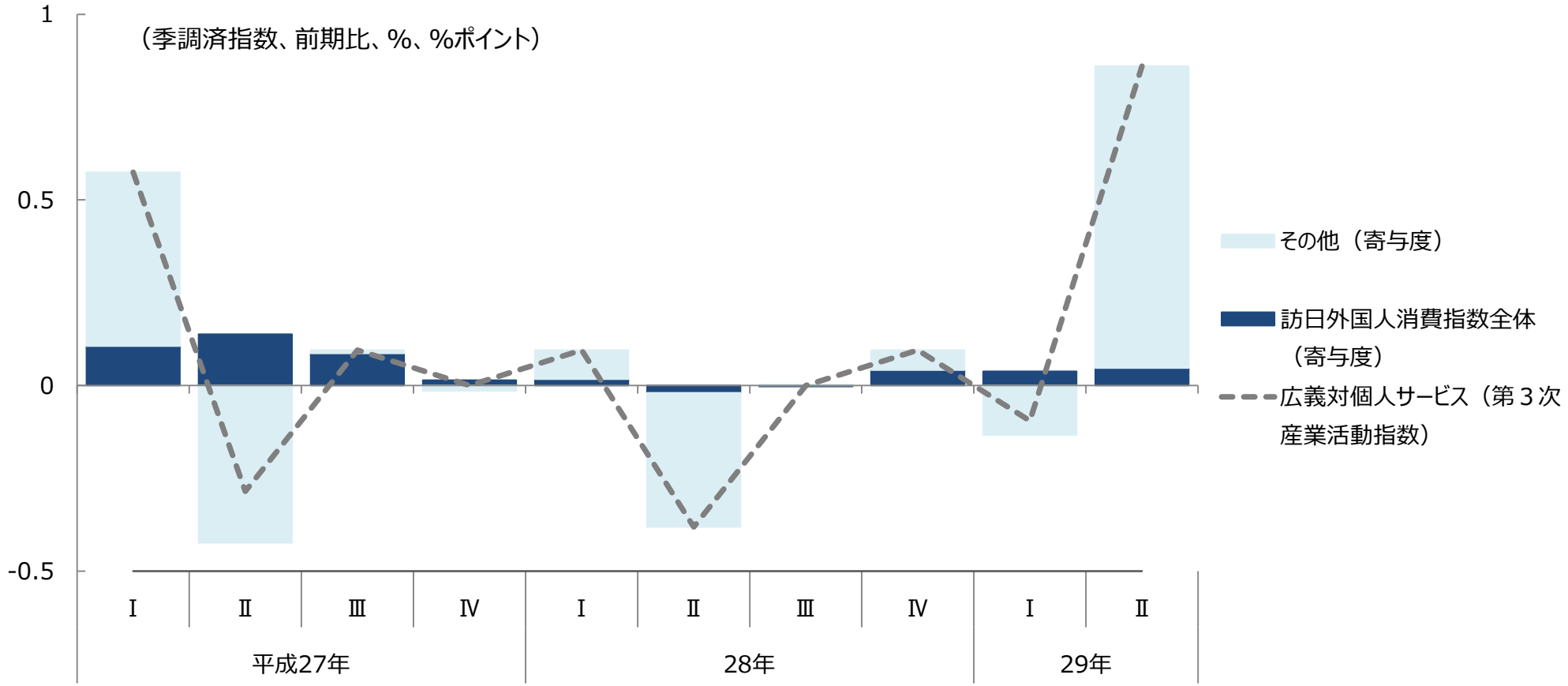



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 平成２７年以降の訪日外国人消費指数の寄与

- 日本国内の対個人サービス活動の変動に対する訪日外国人消費指数の貢献度（寄与）をみると、２９年第１四半期は、対個人サービス全体の前期比マイナス０．１％低下に対し、訪日外国人消費指数は、プラス０．０４％ポイントの上昇寄与。
- ２９年第２四半期は、対個人サービス全体の前期比０．９％上昇に対し、訪日外国人消費指数は、０．０５％ポイントの上昇寄与。

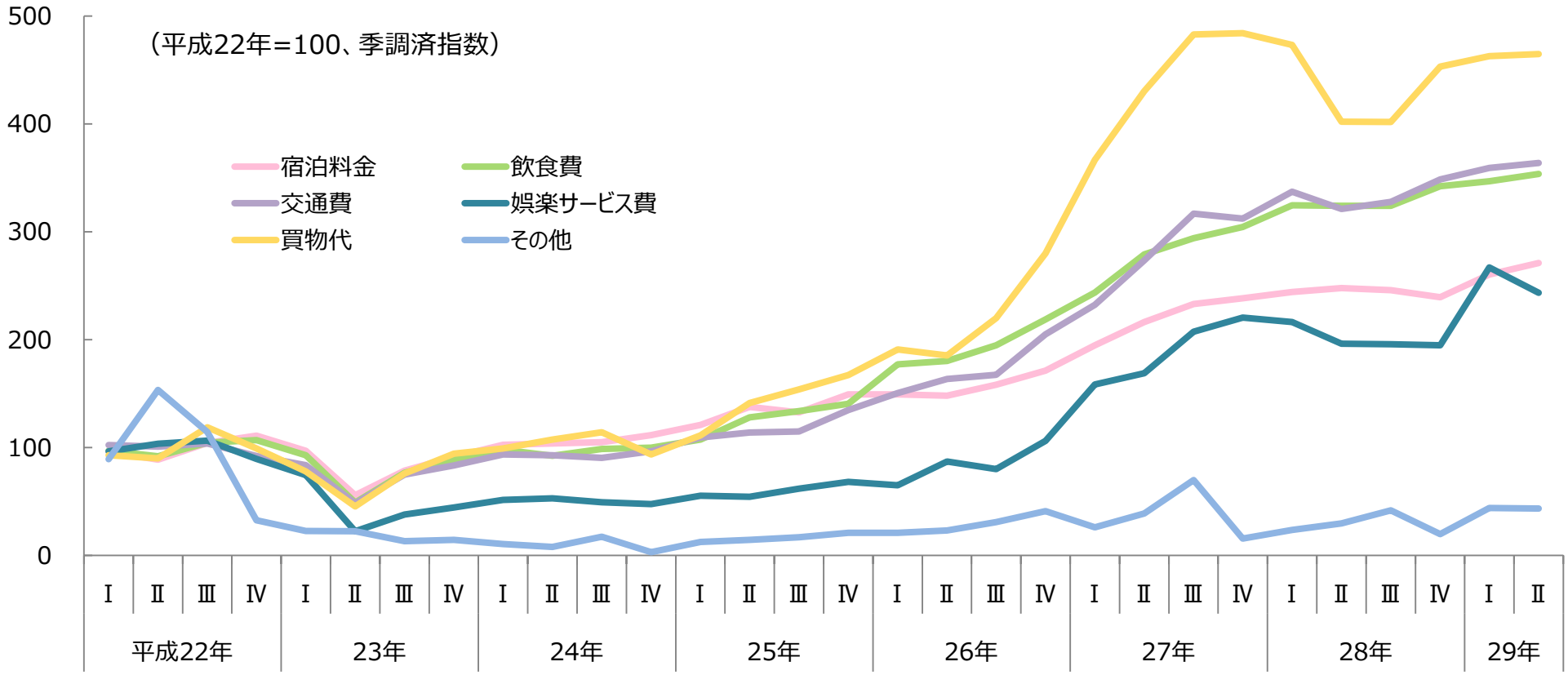



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費の費目別指数と
# 第３次産業活動指数の業種別の動き

# 費目別にみた訪日外国人消費指数の推移

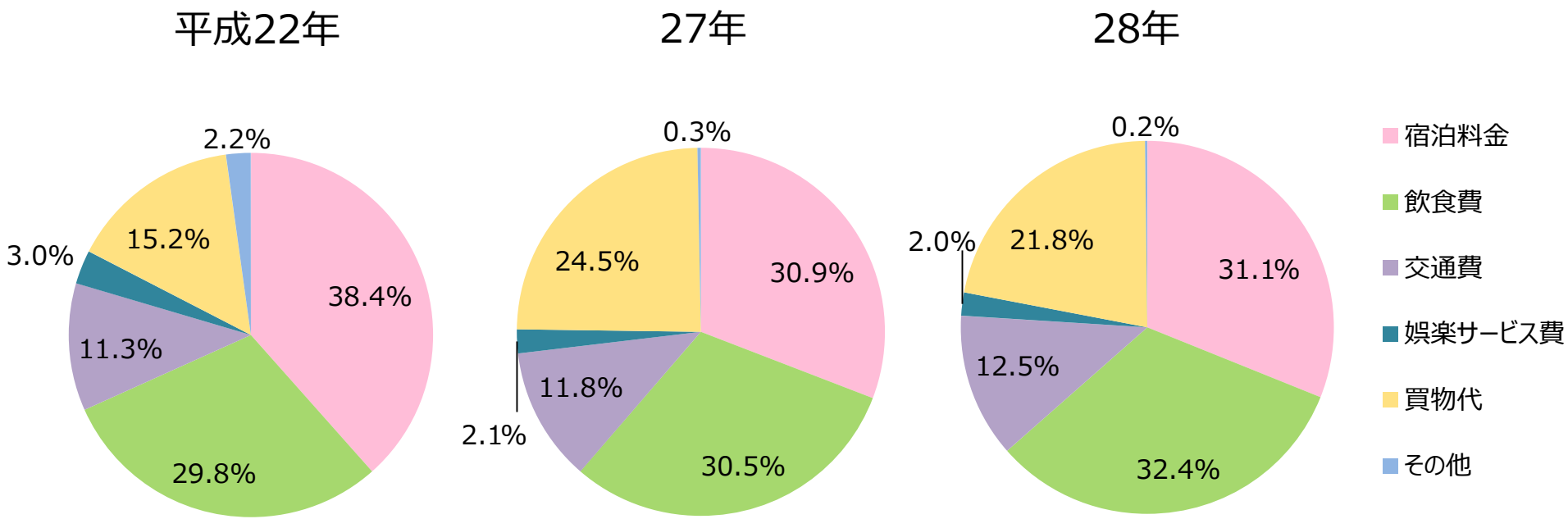
- ２９年第１四半期、第２四半期の費目別指数の動きをみると、買物代は、高水準は維持されるが、第１四半期は、若干の前期比上昇、第２四半期は、ほぼ横ばい。
- 宿泊料金、飲食費、交通費は安定的な上昇が続く。
- 娯楽サービス費は、第１四半期に大きく上昇したが、第２四半期は前期比低下。




（資料）　訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費指数の費目別構成比

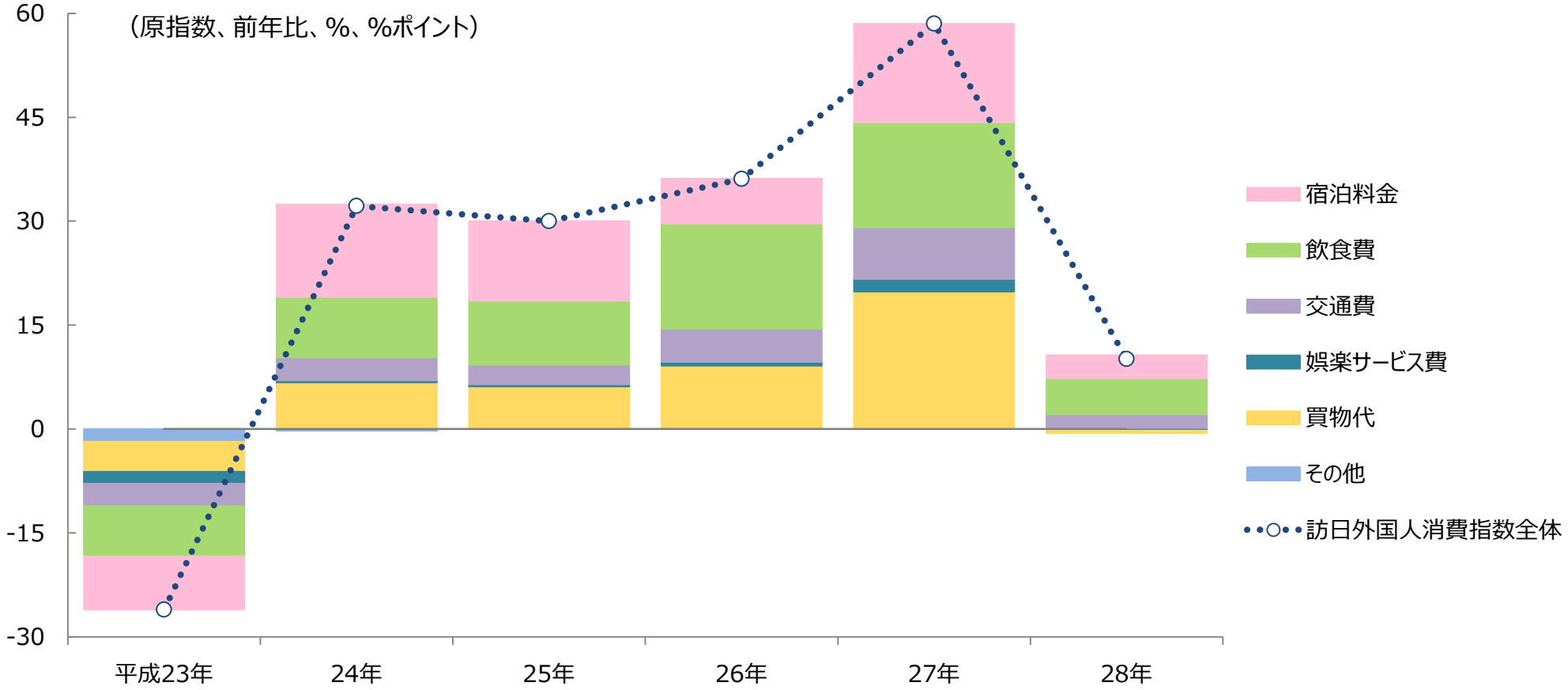
- 費目別構成比をみると、宿泊料金と飲食費の割合が３割を占めているが、２２年と比較すると、構成比の逆転がみられる。
- ２２年と比較すると、「爆買い」が話題になった２７年には、買物代の構成比が上昇し、２割に。
- ほぼ３分の１を占める飲食費とほぼ２割を占める買物代の構成比が伸びている。




（資料）　訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。
グラフは、費目別指数にそれぞれのウェイトを乗じた数値を用いて作成。

# 訪日外国人消費指数の費目別寄与度（前年比）

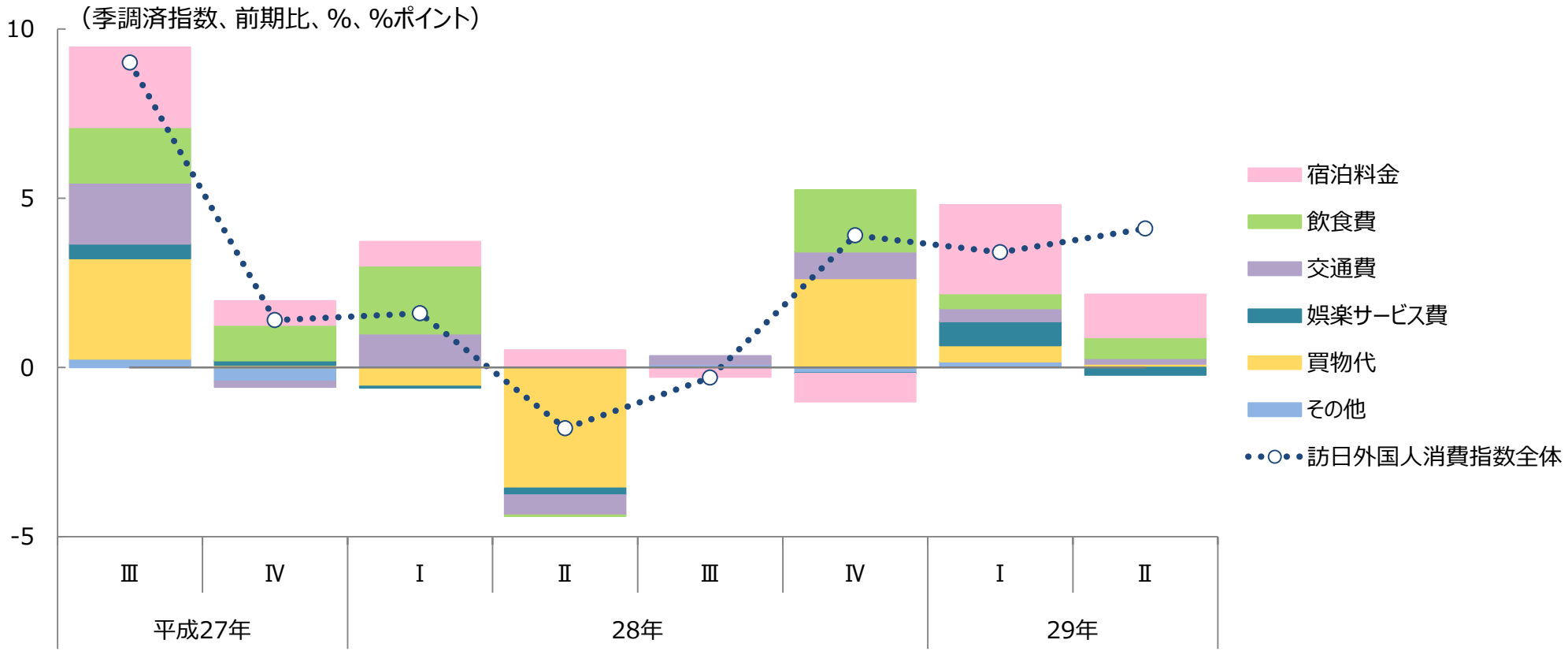
- ２４年以降、訪日外国人消費指数の内訳費目別の影響度合い（全体の前年比に対する寄与度）では、低下寄与となった費目は、ほとんどない。ただ、２８年には、買物代がわずかな低下寄与となっている。
- 訪日外国人消費というと「爆買い＝買物」を思い浮かべるが、買物代は変動が大きく、訪日外国人消費の伸びを安定して支えているのは、実は飲食費や宿泊料金の寄与であることがわかる。




（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費指数の費目別寄与度（前期比）

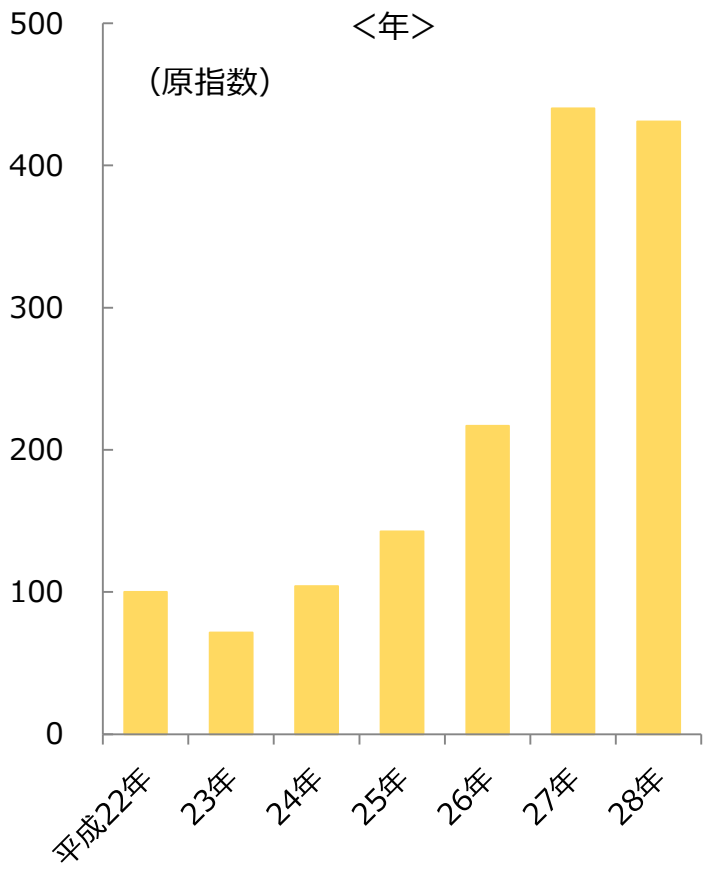
- 費目別の寄与を見ると、２９年第１四半期は宿泊料金の寄与が非常に大きく、全体の前期比３．４％上昇に対し、宿泊料金の上昇寄与が２．６２％ポイントと半分以上を占める。それに次ぐのが、娯楽サービス費の０．７１％ポイント。
- 第２四半期でも、全体の前期比４．１％に対し、宿泊料金の寄与が１．２７％ポイントの上昇寄与で、半分以上を占めている。それに次ぐのが、飲食費（０．６１％ポイント）。第１四半期にプラス寄与だった、娯楽サービス費はマイナス寄与（マイナス０．２２％ポイント）。

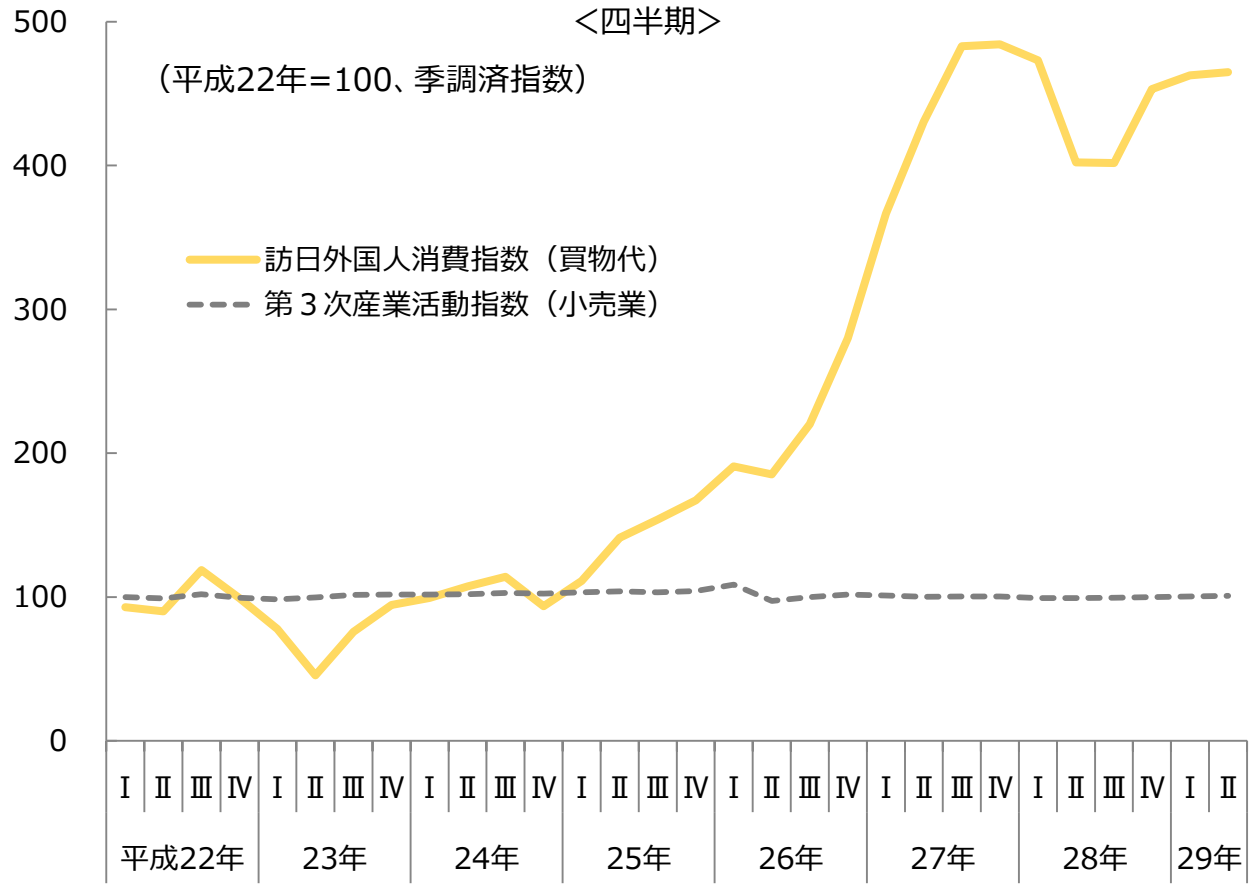



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費　買物代指数の推移

- ２９年第１四半期の買物代指数は、指数値４６２.７、前期比２.１％上昇。第２四半期は、指数値４６４.８、前期比０.５％上昇。
- 買物代指数は、２８年に低下したものの、２９年は４６０を超える高水準で推移。ただ、第１四半期に比べ、第２四半期の伸びは大きく鈍化し、横ばいに近い状態。

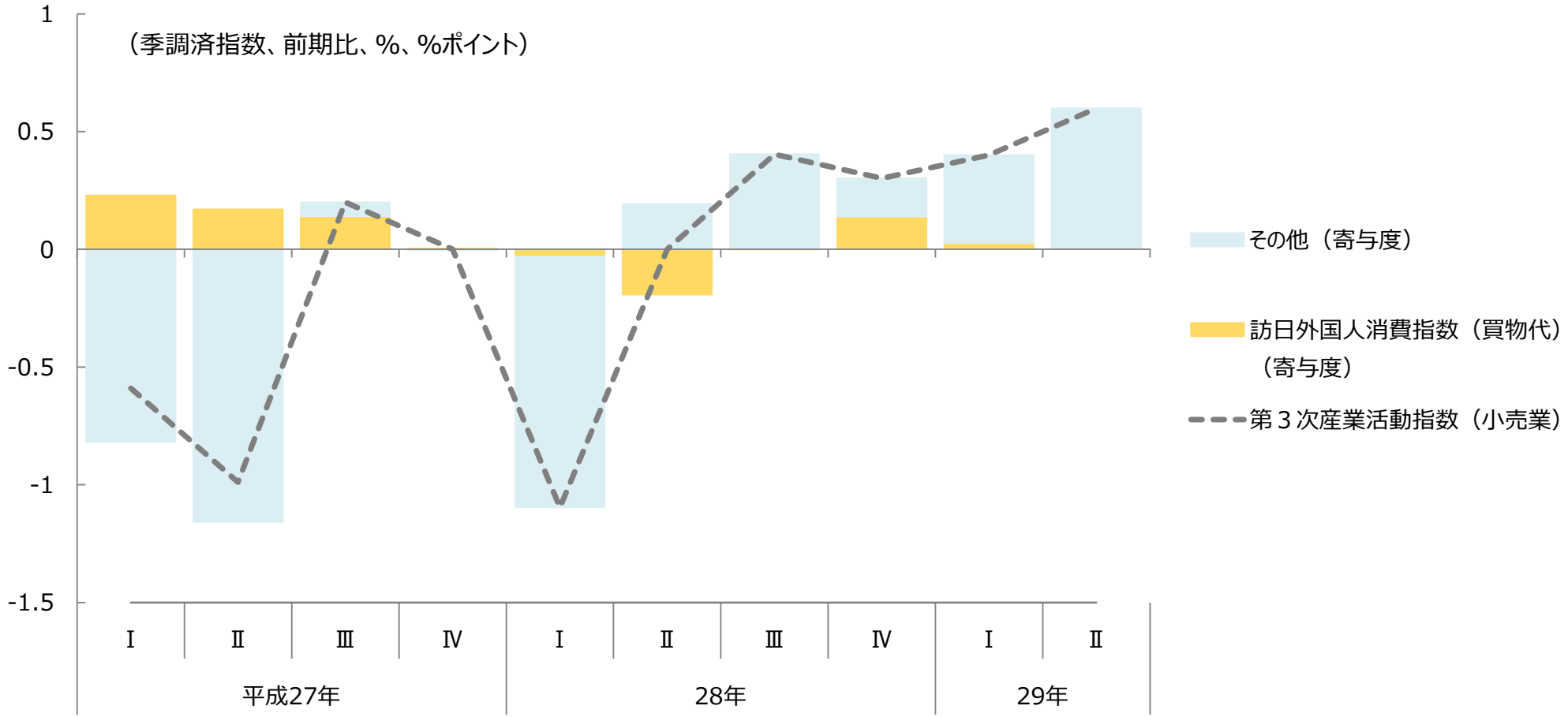



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 平成２７年以降の訪日外国人消費　買物代指数の寄与

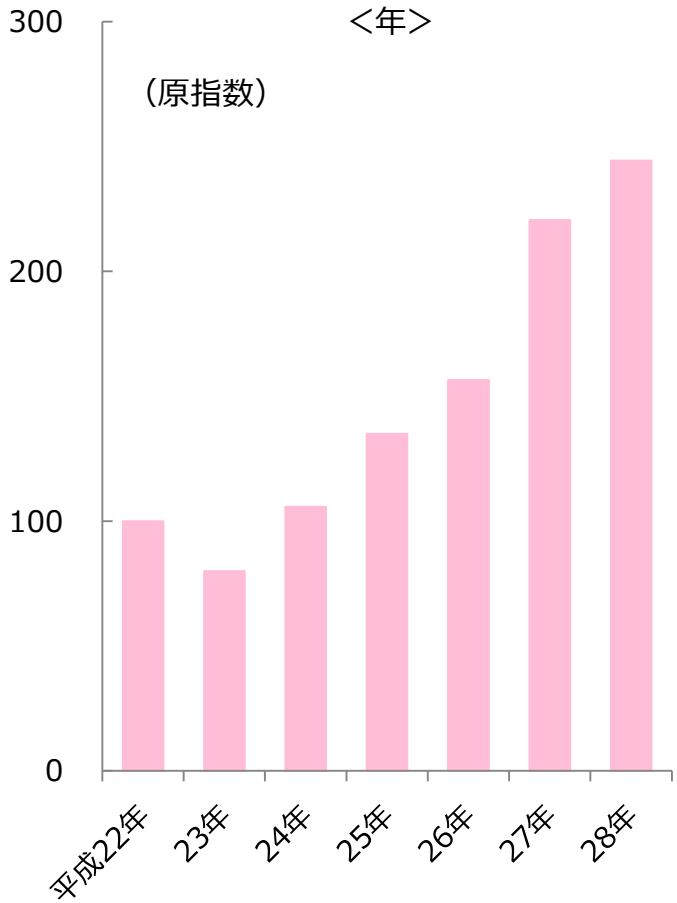
- ２９年前半の国内「小売業」活動に占める訪日外国人の買物代指数の割合は、１％程度。
- 第１四半期の国内「小売業」活動の前期比０．４％上昇に対し、買物代指数の寄与は０．０３％ポイント、第２四半期の国内「小売業」活動の前期比０．６％上昇に対し、買物代指数の寄与は０．０１％ポイント。

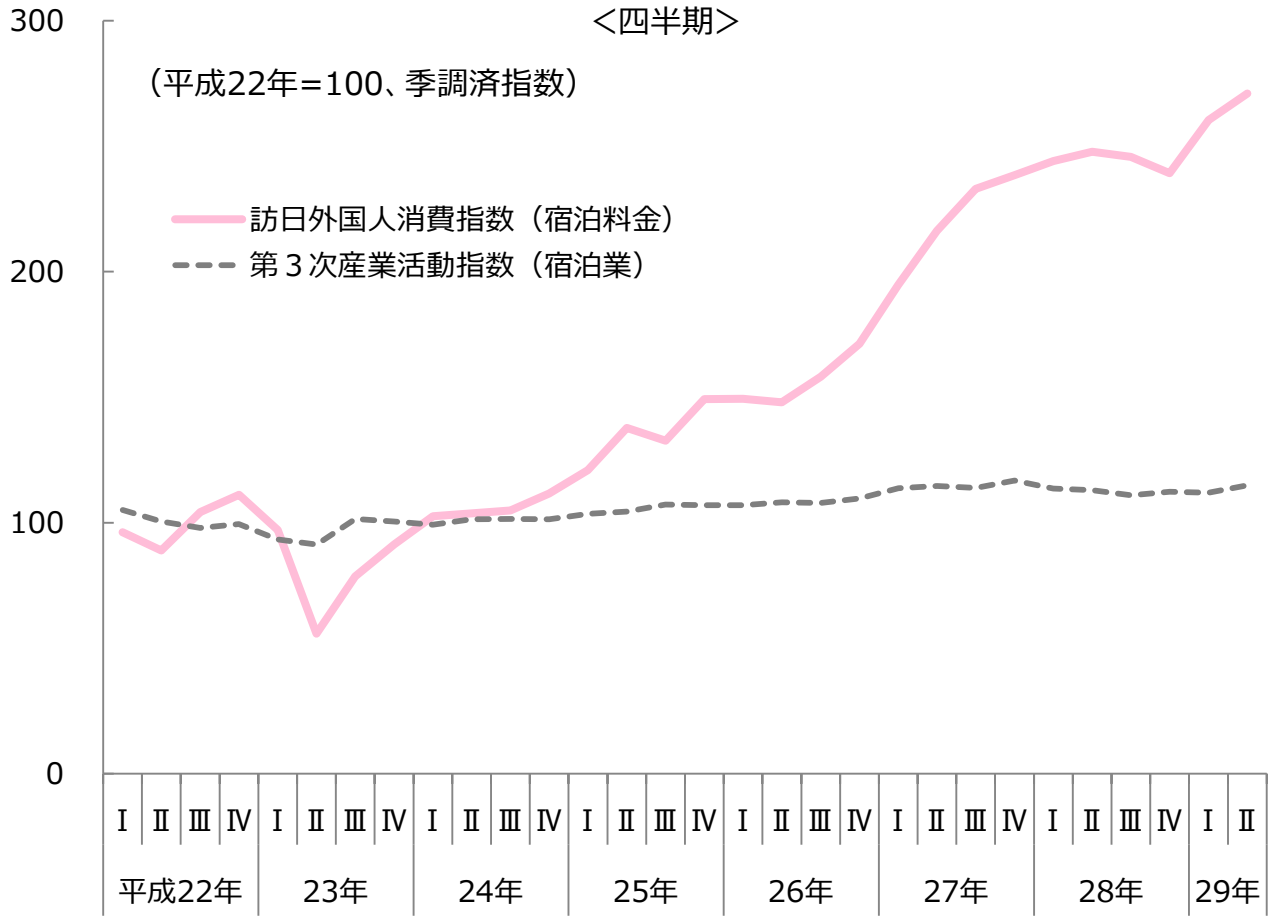



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。
※第３次産業活動指数「小売業」に対する訪日外国人消費指数「買物代」の割合。それぞれウエイトを乗じた指数値で試算。

# 訪日外国人消費　宿泊料金指数の推移

- ２９年第１四半期の宿泊料金指数は、指数値２６０.４、前期比８.８％上昇。第２四半期は、指数値２７１.０、前期比４.１％上昇。
- 宿泊料金指数は、２８年後半に低下したものの、２９年第１四半期に２４０前後から２６０を超える水準に上昇。さらに第２四半期には、２７０台に。

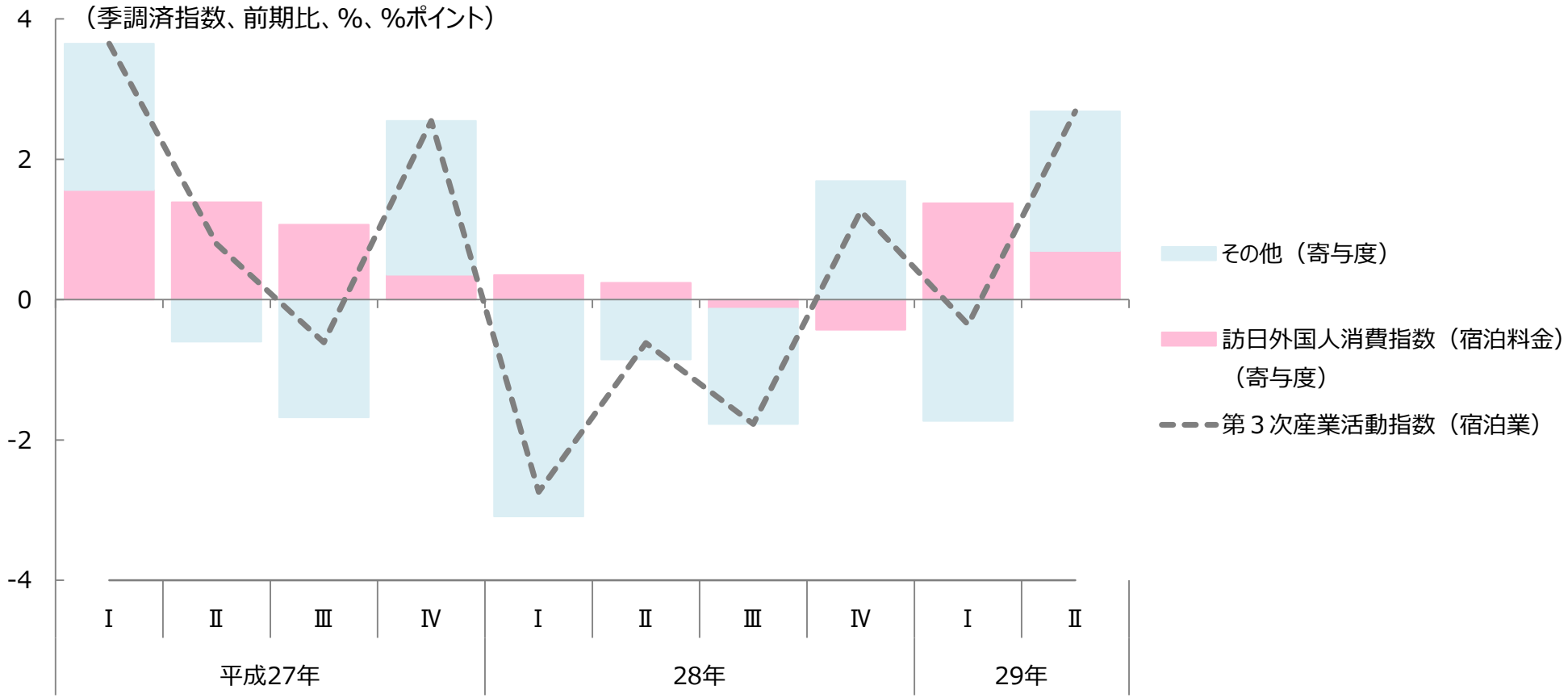



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 平成２７年以降の訪日外国人消費　宿泊料金指数の寄与

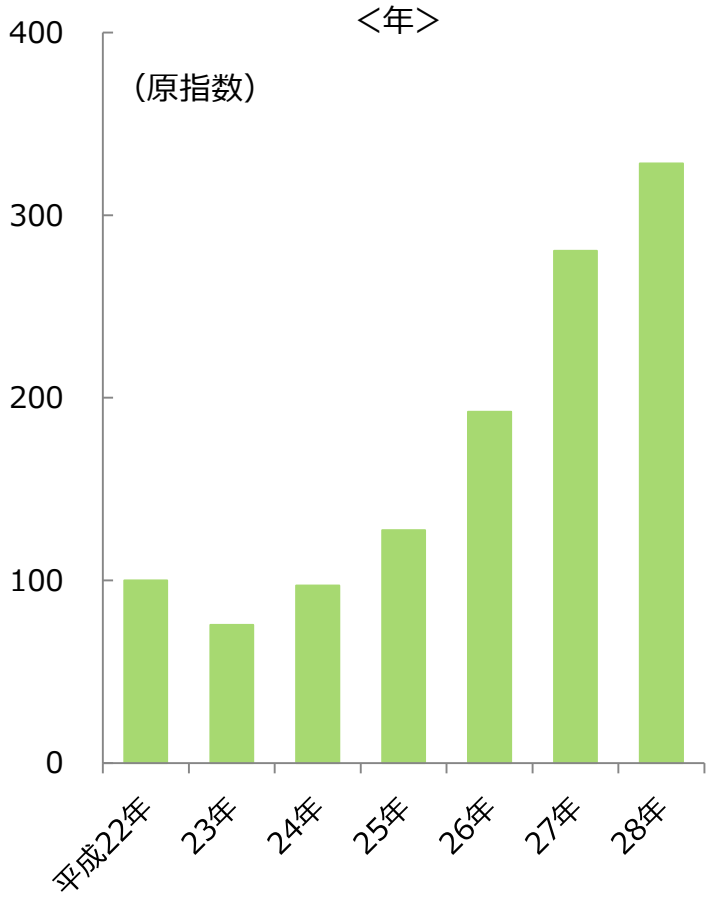
- ２９年前半の国内「宿泊業」活動に占める訪日外国人の宿泊料金指数の割合は、１２％程度。
- 第１四半期の国内「宿泊業」活動の前期比マイナス０．４％低下に対し、宿泊料金指数の寄与は１．３７％ポイントのプラス寄与、第２四半期の国内「宿泊業」活動の前期比２．７％上昇に対し、宿泊料金指数の寄与は０．６９％ポイント。

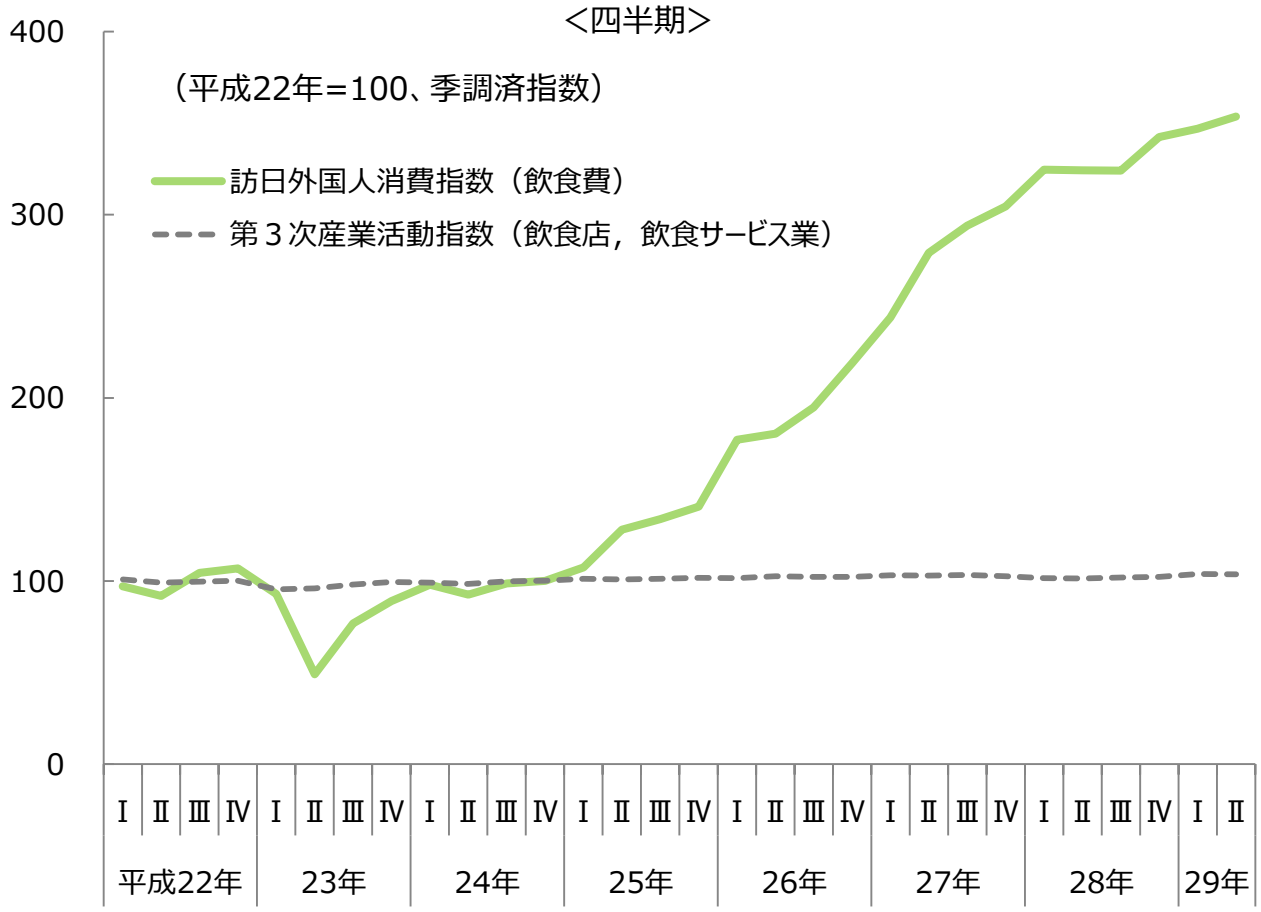



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。
※第３次産業活動指数「宿泊業」に対する訪日外国人消費指数「宿泊料金」の割合。それぞれウエイトを乗じた指数値で試算。

# 訪日外国人消費　飲食費指数の推移

- ２９年第１四半期の飲食費指数は、指数値３４６.９、前期比１.３％上昇。第２四半期は、指数値３５３.５、前期比１.９％上昇。
- 飲食費指数は、２８年に一時横ばい状態となったが、安定した上昇をみせ、２９年第２四半期には３５０を超える水準に。

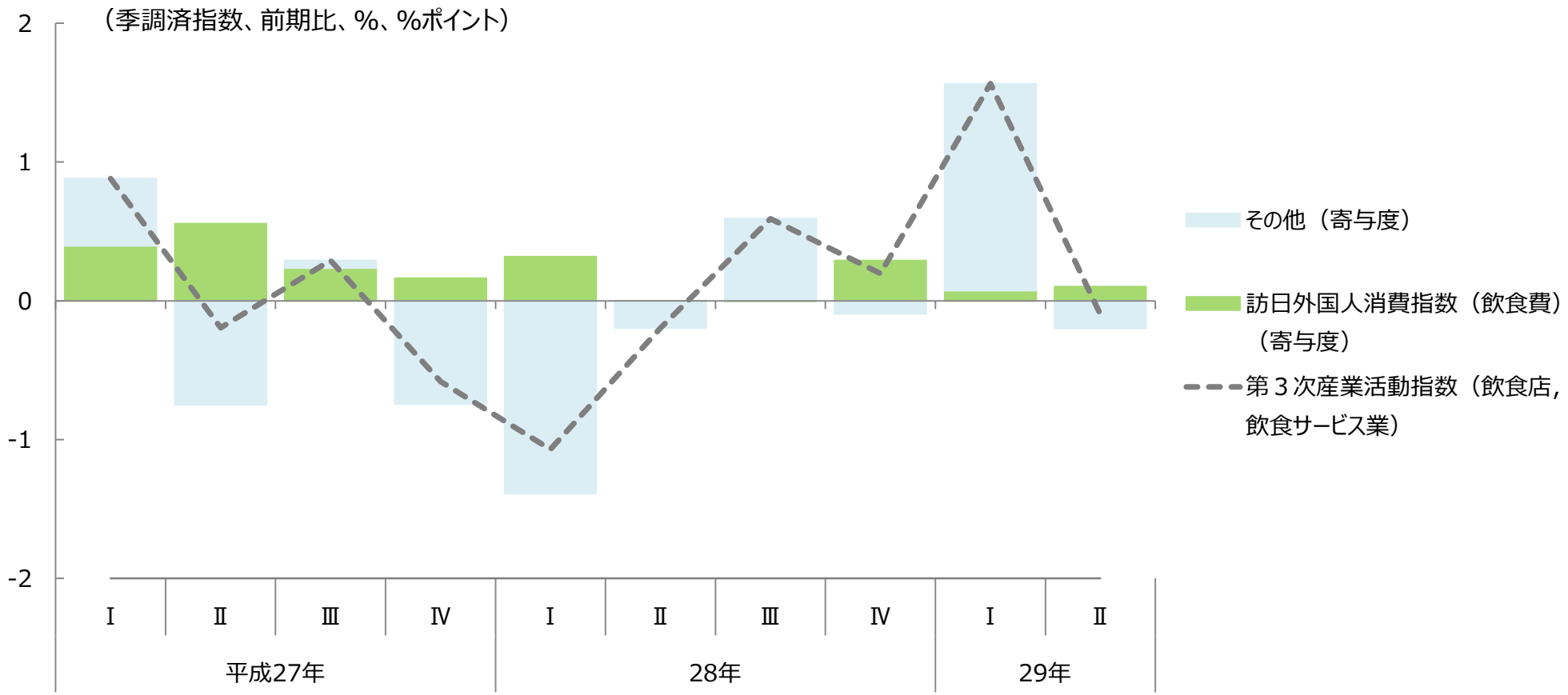



（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 平成２７年以降の訪日外国人消費　飲食費指数の寄与

- ２９年前半の国内「飲食店，飲食サービス業」活動に占める訪日外国人の飲食費指数の割合は、５％程度。
- 第１四半期の国内「飲食店，飲食サービス業」活動の前期比１．６％上昇に対し、飲食費指数の寄与は０．０７％ポイント、第２四半期の国内「飲食店，飲食サービス業」活動の前期比マイナス０．１％低下に対し、飲食費指数の寄与は０．１０％ポイント。




（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。
※第３次産業活動指数「飲食店，飲食サービス業」に対する訪日外国人消費指数「飲食費」の割合。それぞれウエイトを乗じた指数値で試算。

# 平成２９年第２四半期の訪日外国人消費

- ２９年第２四半期の訪日外国人数は７２０万人超え、旅行消費額は１兆円超えで過去最高だが、１人当たりの支出は前年水準を下回る。
- 訪日外国人消費指数は３３２．７、前期比４．１％と３期連続で上昇。他方、対個人サービスの前期比０．９％上昇に対し、訪日外国人消費の寄与は０．０５％ポイント。
- 費目別の寄与をみると、第１四半期に続いて、宿泊料金の前期比上昇寄与が大きい。それに次ぐのは、飲食費。
- 業種別国内サービスの前期比変動に対する寄与では、買物代の小売業に対する寄与は非常に小さく、宿泊料金の宿泊業に対する上昇寄与幅は４分の１程、飲食費の飲食サービス業に対する寄与は全体のマイナスに対しプラス寄与をみせた。

# 訪日外国人消費の地域別指数

# 地域別の訪日外国人数及び旅行消費額の変化

- 訪日外国人消費について、「アジア」及び「欧米」として地域別指数の試算を実施。
- 地域別の訪日外国人旅行者数をみてみると、２２年から２８年にかけての増減率は、全国籍の１７９．２％に対し、アジアは２１０．２％と大きく上昇。一方で、欧米は６５．３％とアジアに比べて小幅な上昇にとどまっている。
- 一人当たり旅行支出額についても、増減率は全国籍の１６．５％に対し、アジアは２８．７％、欧米は４．２％とこちらもアジアの上昇率が高い。

| | 訪日外国人旅行者数（千人） | | | 一人当たりの旅行支出額（円） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平成２２年(a) | 平成２８年(b) | 増減率(b/a)(%) | 平成２２年(c) | 平成２８年(d) | 増減率(b/a)(%) |
| 全国籍 | 8,611 | 24,040 | 179.2 | 133,766 | 155,896 | 16.5 |
| アジア | 6,207 | 19,251 | 210.2 | 116,916 | 150,453 | 28.7 |
| 欧米 | 1,391 | 2,300 | 65.3 | 166,106 | 173,154 | 4.2 |

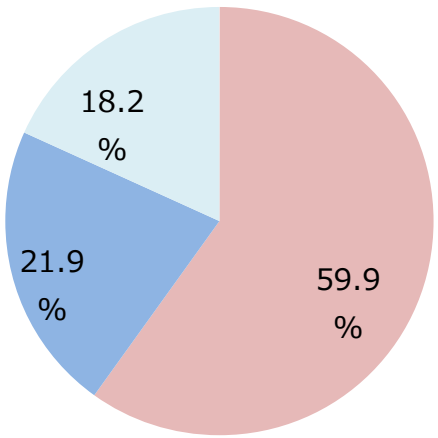
（資料）訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）
※地域分類は、国別指数の作成可能な国を訪日外客数の地域分類を参考に作成。
各地域の一人当たり旅行支出額は、訪日外国人旅行者数で加重平均して作成。
アジア：韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インド　　欧米：英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ

# 訪日外国人旅行消費額構成比比較（アジア、欧州）

- 訪日外国人消費額を「アジア」「欧米」「その他」と地域別に集計し、その構成比を２２年（基準年2010年）と２８年で比較。
- ２２年でもアジアからの訪日客の消費額が６割を占めており、欧米からの訪日客の消費額は２割だった。２８年には７割がアジアに。

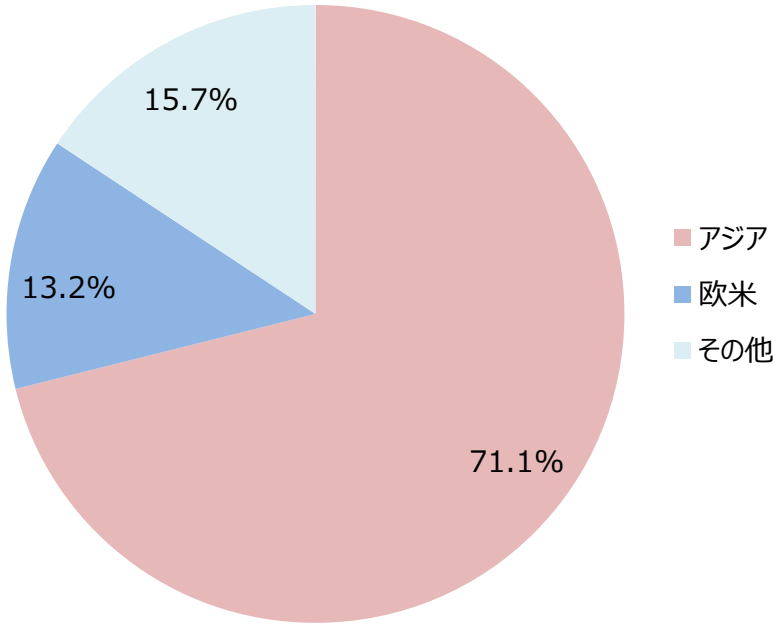
22年

訪日外国人消費額
1兆1,490億円




28年

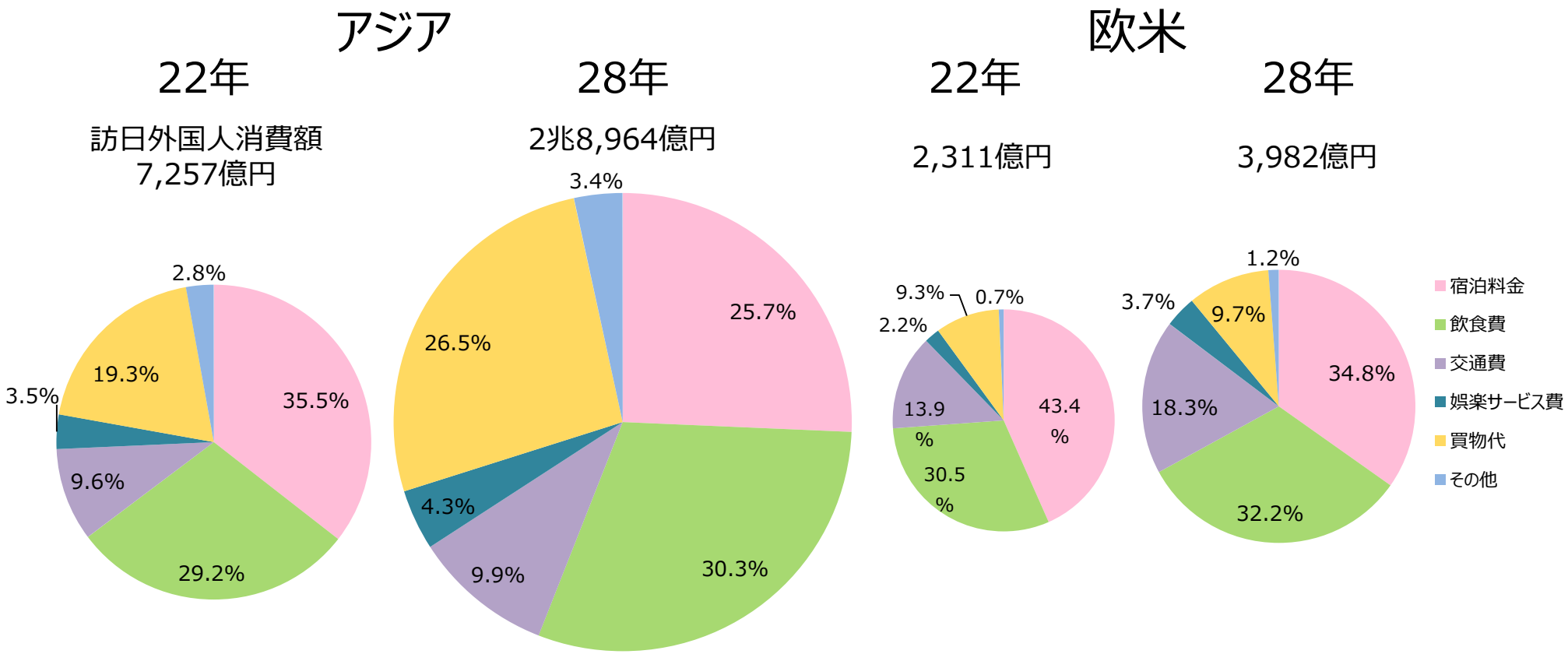
3兆7,476億円




（資料）　訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。
グラフは、地域別の旅行消費全体指数にそれぞれのウェイトを乗じた数値を用いて作成。

# 費目別構成比比較（アジア、欧州）

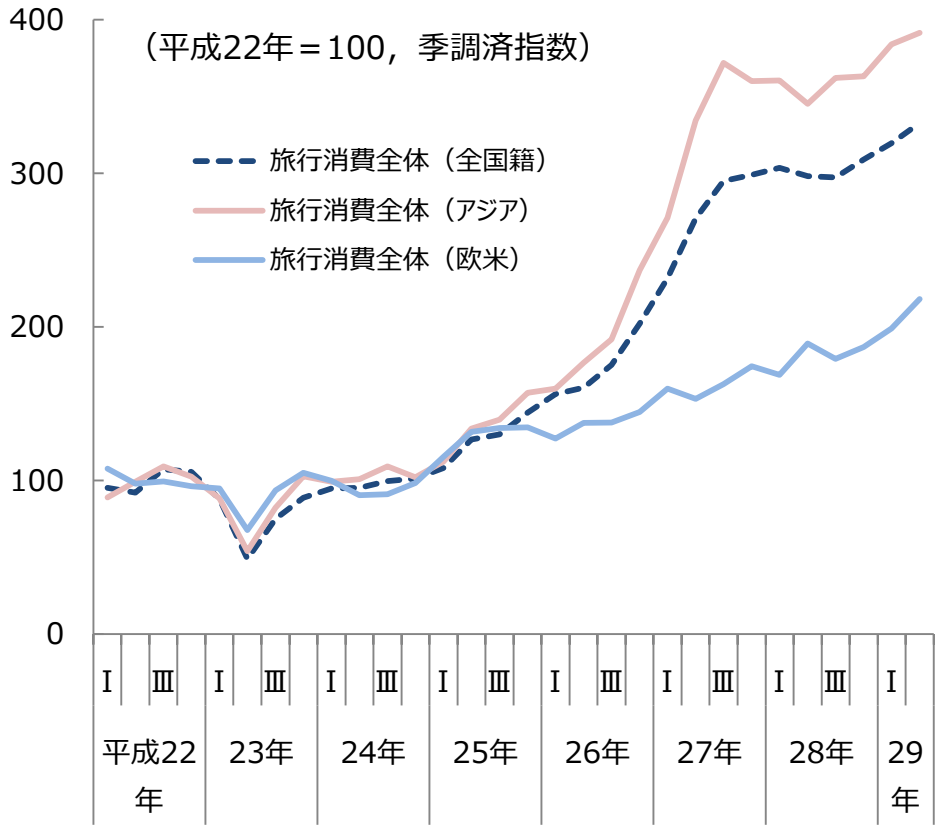
- ２２年（基準年2010年）と２８年の費目別構成比を、アジアと欧米でそれぞれ比較。
- アジアでは、買物代金指数の構成比が拡大し、宿泊料金指数の構成比が低下。
- 欧米では、飲食費の構成比が高く、かつ拡大。交通費も拡大している。

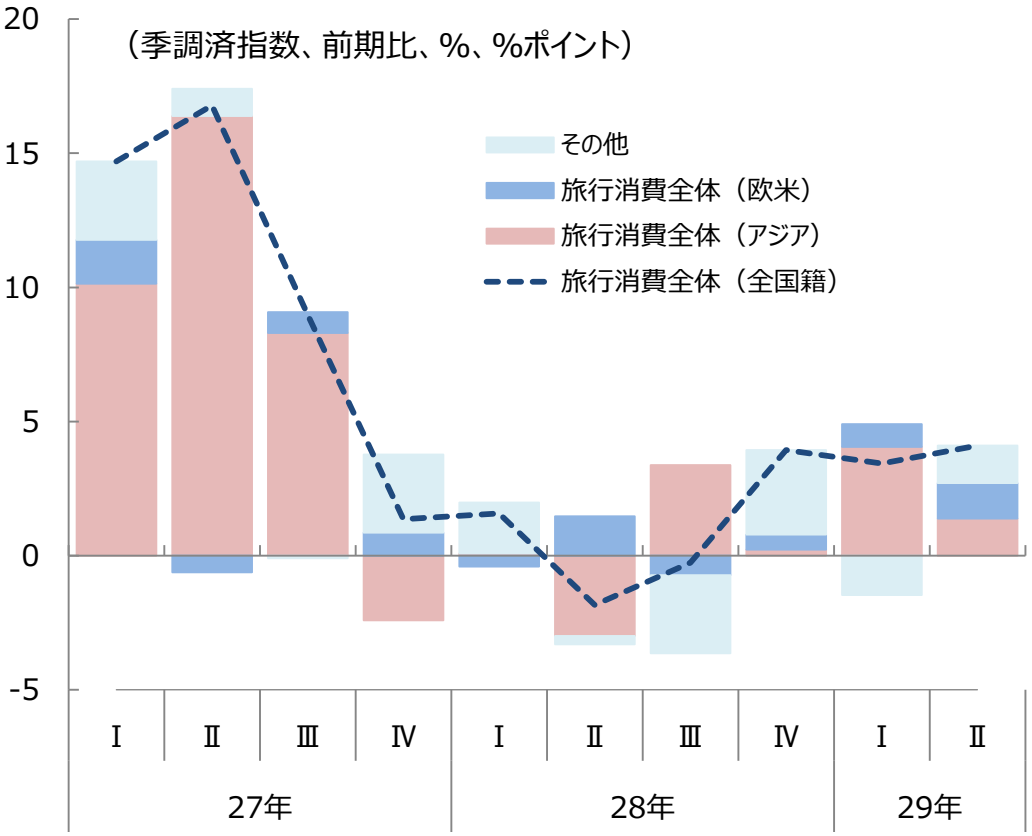



（資料）　訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。
グラフは、地域別の費目別指数にそれぞれのウェイトを乗じた数値を用いて作成。

# 訪日外国人消費の地域別指数（旅行消費全体）ーアジア、欧米ー

- ２９年第１四半期の訪日外国人消費のうち、アジア指数は３８４.１、さらに第２四半期は３９１.５で前期比　１.９％と４期連続上昇。
- 第１四半期の欧米指数は、１９９.０、さらに第２四半期は２１８.２で前期比９.６％と３期連続上昇。
- 第１四半期の訪日外国人消費全体の伸びに対する寄与では、圧倒的にアジアの寄与が大。第２四半期では、アジア指数と欧米指数の寄与が拮抗。

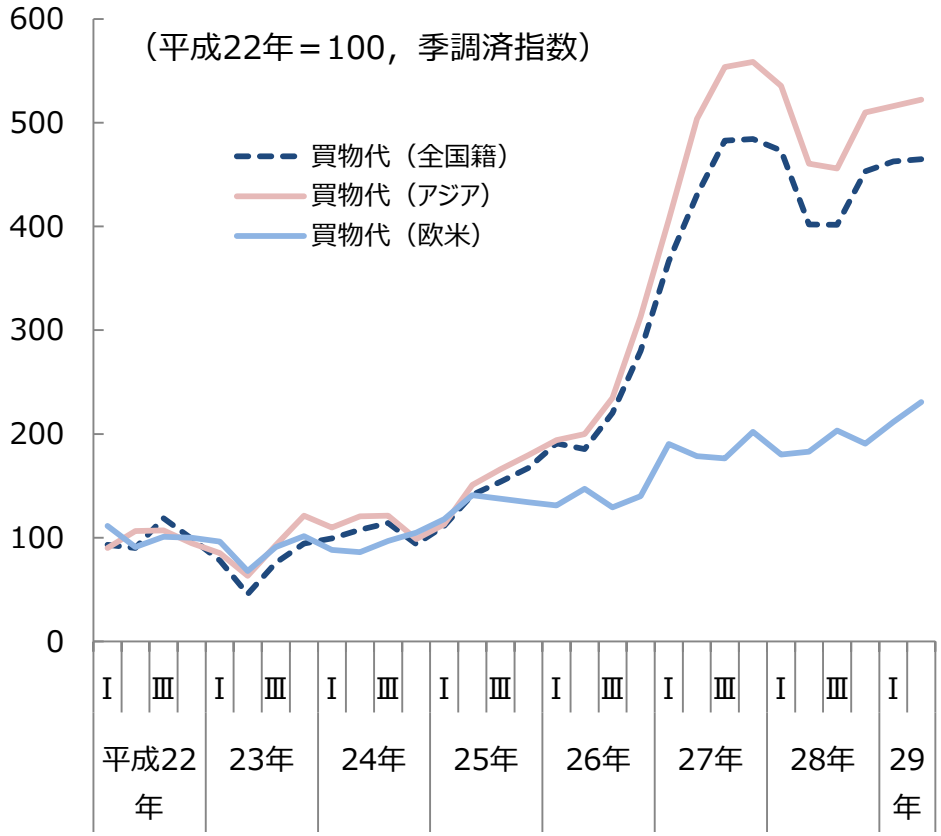


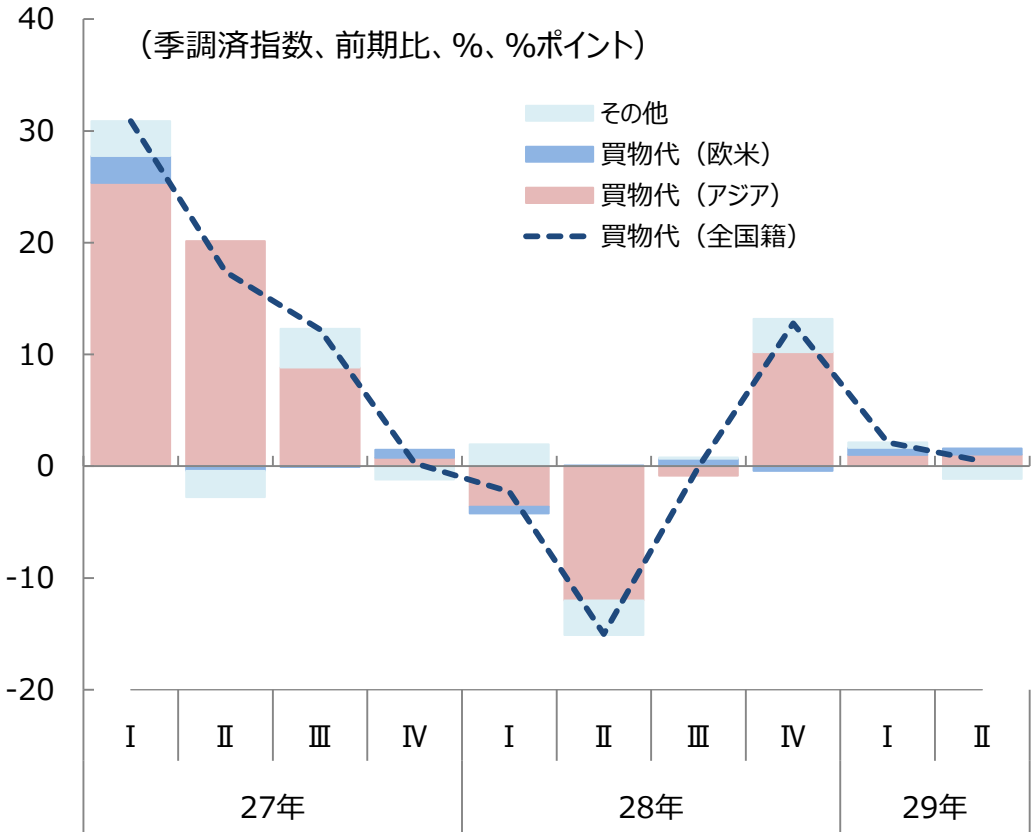




（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費の地域別指数（買物代）ーアジア、欧米ー

- ２９年第１四半期の買物代指数のうち、アジア指数は５１６．１、さらに第２四半期は５２２．４で前期比１．２％と３期連続上昇。
- 第１四半期の欧米指数は、２１１．６、さらに第２四半期は２３０．７で前期比９．０％と２期連続上昇。
- 第１四半期、第２四半期ともに、買物代全体の伸びに対する寄与では、アジア：欧米＝２：１程度。第２四半期は、アジア、欧米以外の訪日客のマイナス寄与が大きく、買物代の伸びがかなり小さい。

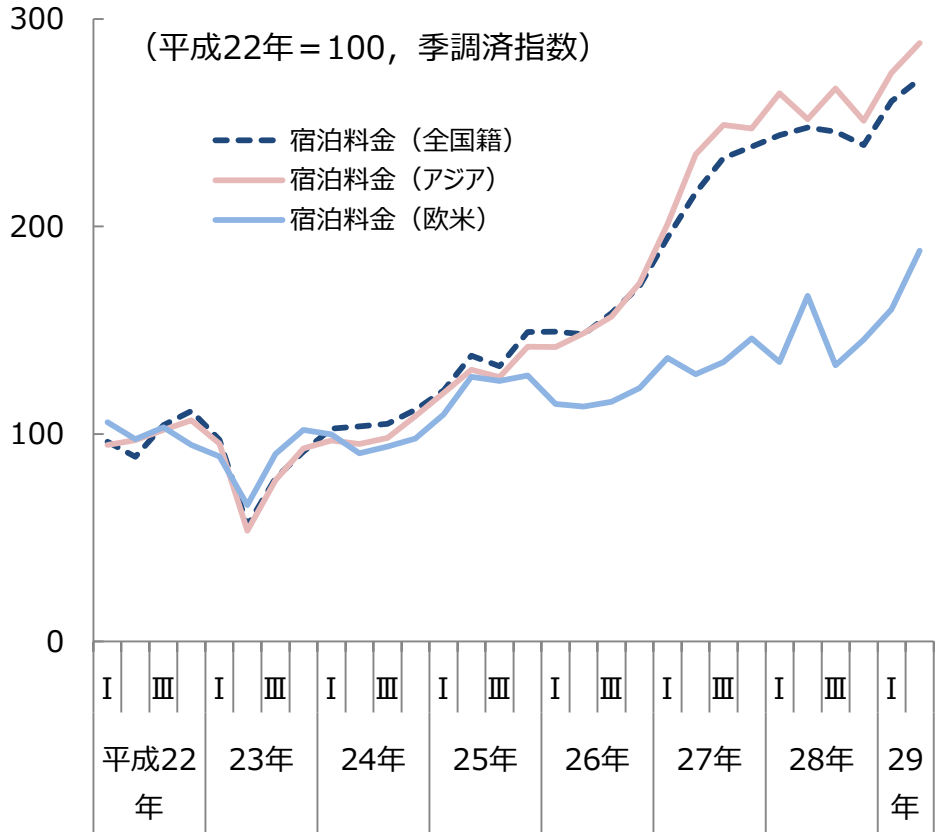


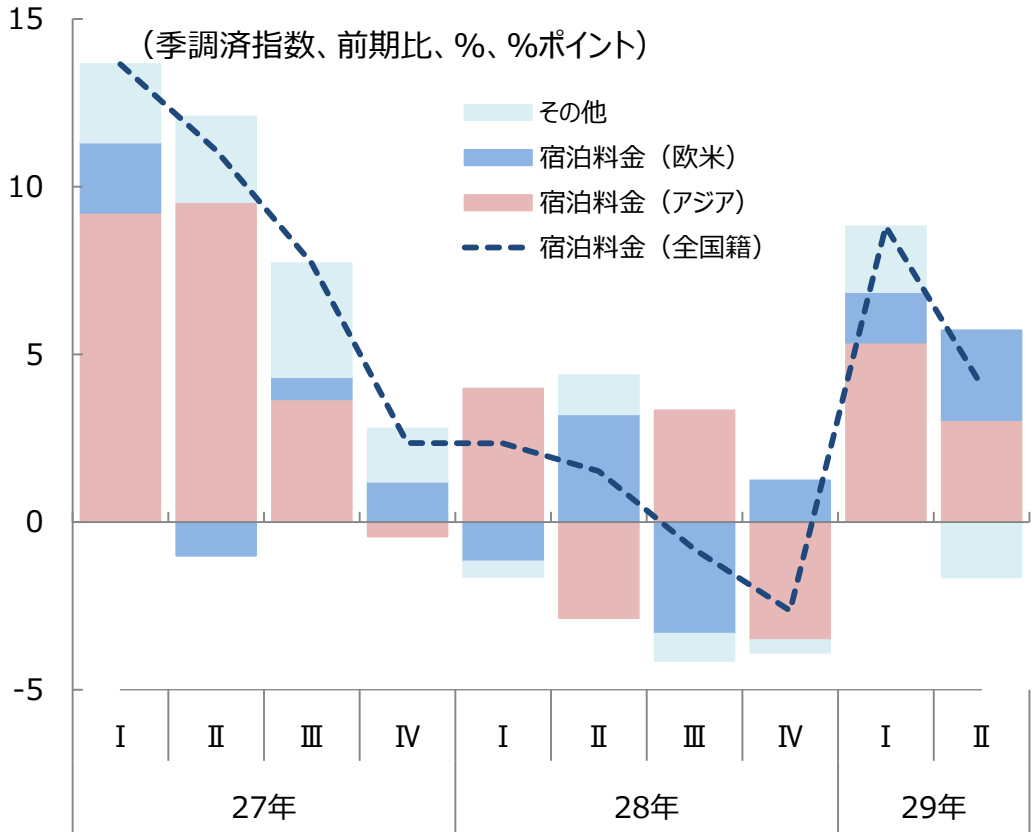




（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費の地域別指数（宿泊料金）ーアジア、欧米ー

- ２９年第１四半期の宿泊料金指数のうち、アジア指数は２７４.１、さらに第２四半期は２８８.４で前期比５.２％と２期連続上昇。
- 第１四半期の欧米指数は１６０.１、さらに第２四半期は１８８.３で前期比１７.６％と３期連続上昇。
- 第１四半期はアジアの上昇寄与が大きかったが、第２四半期は欧米とアジアが同程度の上昇寄与をみせた。

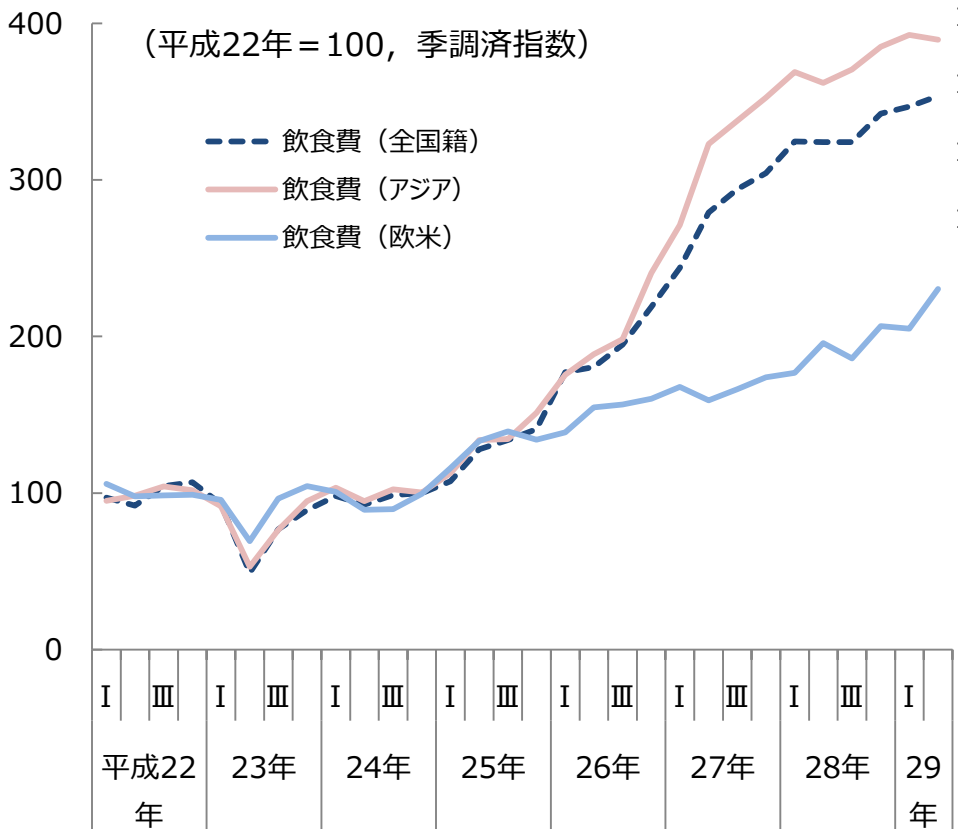


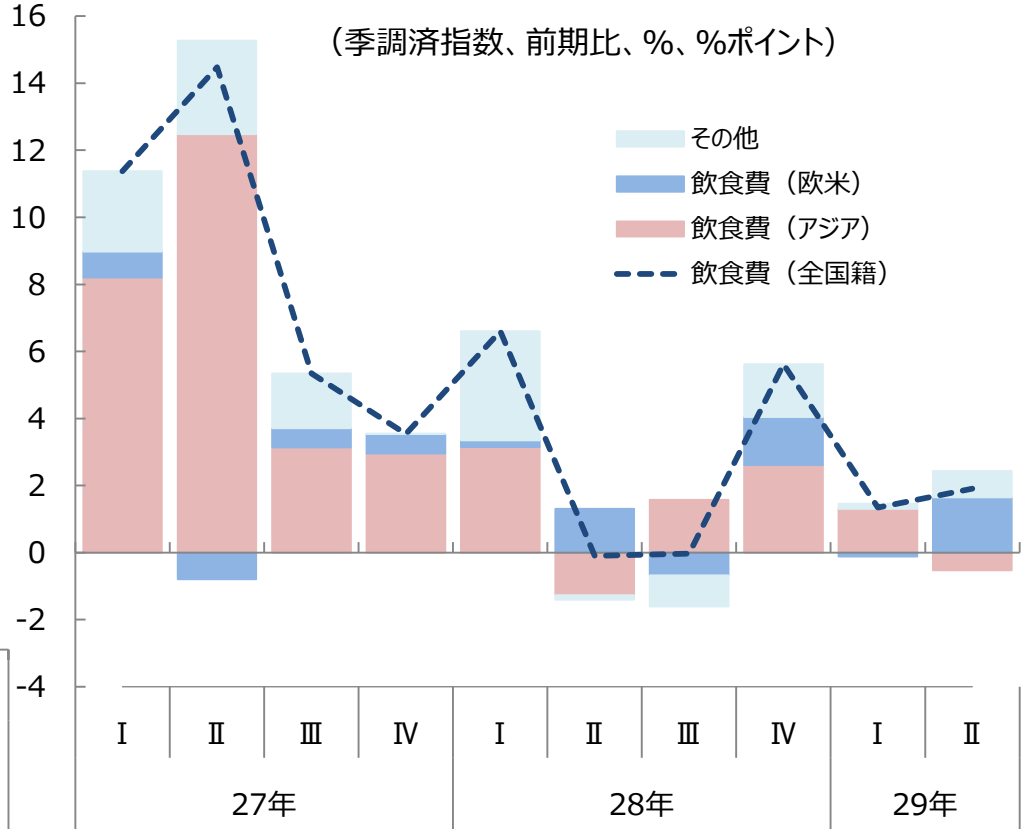




（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# 訪日外国人消費の地域別指数（飲食費）ーアジア、欧米ー

- ２９年第１四半期の飲食費金指数のうち、アジア指数は３９２.６、さらに第２四半期は３８９.５で前期比マイナス０.８％と４期ぶりで低下。
- 第１四半期の欧米指数は２０４.９、さらに第２四半期は２３０.４で前期比１２.４％と２期ぶりで上昇。
- 第１四半期はアジアの上昇寄与、第２四半期は欧米の上昇寄与によって、飲食費全体が３期連続の前期比上昇となった。




（資料）訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

# アジア指数と欧米指数の比較

- 訪日外国人消費を「アジア」及び「欧米」として地域別にみると、訪日外国人旅行者数及び一人当たり旅行支出額ともに、両地域とも２２年から２８年にかけて増加しているものの、増加率としては全国籍と比較してアジアが高く、欧米は低い。
- 訪日外国人消費の地域別構成比をみると、アジアの構成比が圧倒的に高く、２２年の約６割に対し、２８年は約７割と、アジアの構成比はより一層拡大。一方、欧米の構成比はかなり縮小している。
- 費目別構成比をみると、アジアは飲食費の構成比が最も高く、次いで買物代、宿泊料金と続き、３費目の構成比は同程度。欧米は宿泊料金の構成比が高く、次いで飲食費。アジアの構成比と比べて買物代は低く、交通費は高い。
- ２９年第２四半期の全体指数３３２.７に対し、アジア指数は３９１.５、欧米指数は２１８.２で、全体の前期比上昇に対し、アジアと欧米が同程度の寄与をみせていた。費目別にみると、宿泊業や飲食サービス業に対して、欧米が大きな寄与をみせた。買物は、アジア、欧米ともに大きな寄与はみせていない。

# （参考）
# 訪日外国人消費指数の作成方法

# 個別の「費目」指数の作成方法

- 「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）の訪日客１人当たりの費目別（宿泊、飲食、交通、娯楽、買物、その他の６項目）売上高に、「訪日外客数」（日本政府観光局）を乗じて訪日外国人旅行消費金額を算出し、消費者物価指数（総務省）を用いて実質指数化。
- 指数採用データの詳細は、次頁参照。

# 費目指数を加重平均して統合するためのウェイトの作成方法

- 「経済センサス活動調査」（総務省・経済産業省）の2011年の産業別売上高を、「サービス産業動向調査」（総務省）及び「商業動態統計」（経済産業省）の2011年の産業別売上高前年比で除して2010年の産業別売上高を推計。対応する産業別売上高に対する2010年の費目別訪日外国人旅行消費金額の割合を、「第３次産業活動指数」（経済産業省）の業種別ウェイトに乗じて算出。
- 地域別指数のウェイトは、2010年の全国籍の費目別旅行消費額に対する地域別の費目別旅行消費額の割合で、全国籍のウェイトを配分して作成。
- ウェイト算定データは、次頁参照。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 第３次産業総合 | 10000.0 | | |
| 広義対個人サービス | 4846.2 | | |
| | 全国籍 | アジア | 欧米 |
| 訪日外国人消費指数（全体） | 18.129 | 10.863 | 3.962 |
| 宿泊 | 6.962 | 3.861 | 1.718 |
| 飲食 | 5.398 | 3.170 | 1.208 |
| 交通 | 2.052 | 1.038 | 0.549 |
| 娯楽サービス | 0.549 | 0.385 | 0.089 |
| 買物 | 2.764 | 2.100 | 0.370 |
| その他 | 0.404 | 0.309 | 0.028 |

# 季節調整方法

- 米国センサス局が開発したX-12-ARIMAの機能のうちX-11の機能のみを使用して季節調整を実施。

# 指数作成に用いたデータ

| 業　種　名 | | 採用データ | |
|---|---|---|---|
| | | 実数データ | デフレータ |
| 訪日外国人消費指数（全体） | | | |
| | 宿泊 | 訪日外国人消費支出（宿泊料金）＝①×②<br>①訪日外国人１人当たり旅行支出（宿泊料金）<br>「訪日外国人消費動向調査」（観光庁）<br>②訪日外客数<br>「訪日外客数調査」（日本政府観光局）<br>（以下出典は同様） | 宿泊料<br>「消費者物価指数」（総務省）<br>（以下出典は同様） |
| | 飲食 | 訪日外国人消費支出（飲食費） | 一般外食 |
| | 交通 | 訪日外国人消費支出（交通費） | 以下の各品目の加重平均値<br>航空運賃、鉄道運賃（ＪＲ）、鉄道運賃（ＪＲ以外）、一般路線バス代、高速バス代、タクシー代、有料道路料、レンタカー料金 |
| | 娯楽サービス | 訪日外国人消費支出（娯楽サービス費） | 以下の各品目の加重平均値<br>ゴルフ練習場、ゴルフプレー料金、テーマパーク入場料金、演劇観覧料、サッカー観覧料、プロ野球観覧料、文化施設入場料、映画観覧料、ボウリングゲーム代、プール使用料、フィットネスクラブ使用料、カラオケルーム使用料 |
| | 買物 | 訪日外国人消費支出（買物代） | 以下の各品目の加重平均値<br>菓子類、飲料、酒類、たばこ、教養娯楽用耐久財、腕時計、家事用耐久財、化粧品、医薬品・健康保持用摂取品、保健用医療用品・器具、衣料、シャツ・セーター類、履物類、他の被服、かばん類、玩具、書籍、雑誌、コンパクトディスク、ビデオソフト、財<br>※免税対象商品については、免税購入率（訪日外国人消費動向調査）により調整。 |
| | その他 | 訪日外国人消費支出（その他） | 総合 |

# ウェイト算定データ

| 訪日外国人消費調査 | | | | 経済センサス活動調査 | | サービス産業動向調査<br>商業動態統計 | | | | 第３次産業活動指数 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 一人当たり消費支出 | 訪日外客数 | 訪日外国人消費額 | | 売上高（企業集計） | | 前年比 | 売上高（推計値） | 訪日外国人消費額の割合(推計値) | | ウェイト | **訪日外国人消費指数（全国籍）のウェイト** | |
| | a1 | a2 | a=a1*a2 | | b | | c | d=b/c | e=a/d | | g | | **h=g*e** |
| | 2010年 | 2010年 | 2010年 | | 2011年 | | 2011年 | 2010年 | 2010年 | | 2010年 | | **2010年** |
| | (円/人) | (人) | (億円) | | (億円) | | (%) | (億円) | (%) | | | | |
| 合計 | 133,426 | | 11,490 | | | | | | | 合計 | | **全体** | **18.129** |
| 宿泊料金 | 41,659 | | 3,587 | 宿泊業 | 46,129 | 宿泊業 | -6.0 | 49,054 | 7.3 | 宿泊業 | 95.2 | **宿泊** | **6.962** |
| 飲食費 | 26,598 | | 2,290 | 飲食店 | 132,290 | 飲食店 | -6.1 | 140,862 | 1.6 | 飲食店，飲食サービス業 | 332 | **飲食** | **5.398** |
| 交通費 | 14,120 | 8,611,175 | 1,216 | 運輸業，郵便業<br>自動車賃貸業 | 565,913 | 運輸業，郵便業<br>自動車賃貸業 | -4.2 | 590,573 | 0.2 | 運輸業，郵便業<br>自動車賃貸業 | 996.8 | **交通** | **2.052** |
| 娯楽サービス | 6,803 | | 586 | 娯楽業 | 262,142 | 娯楽業 | -10.8 | 293,852 | 0.2 | 娯楽業 | 275.2 | **娯楽サービス** | **0.549** |
| 買物代 | 41,273 | | 3,554 | 小売業 | 1,291,802 | 小売業 | -2.3 | 1,322,212 | 0.3 | 小売業 | 1028.1 | **買物** | **2.764** |
| その他 | 2,973 | | 256 | | | | | | | | | **その他** | **0.404** ※ |

※訪日外国人消費指数の「その他」のウェイトは、2010年の訪日外国人消費額合計に占める「その他」の割合から推計した。

経済産業省

# こちらも是非御覧下さい！

◎ミニ経済分析：色々なテーマあります

動きで見る経済指標など
ひと言解説、ミニ経済分析、

ぜひお手持ちの電話で
QRコードを読み取って
下さい！！

【問合せ先】

ご不明な点はコチラにお問合せください。

経済産業省 大臣官房 調査統計グループ 経済解析室
電話：03-3501-1644（直通）
ＦＡＸ：03-3501-7775
E-MAIL： qqcebc@meti.go.jp